

令和6年度 公共事業再評価調書

1. 事業説明シート

(区分) **国補** 県単

事業名	道路事業 [緊急道路整備改築事業 (国補)]		事業箇所	甲府市平瀬町～甲斐市吉沢	地区名	(主) 甲府昇仙峡線 (櫻橋)	事業主体	山梨県
-----	------------------------	--	------	--------------	-----	-----------------	------	-----

計画期間	当初計画	現計画	変更計画
	H30~R6	~	H30~R11
総事業費	600 百万円	- 百万円	1,300 百万円

④特記事項 (関連事業概要等)
 (主) 甲府昇仙峡線 (新長とろ橋) H24~R9 L=348m W=5.5 (11.0) m

(1) 事業の概要

①事業目的及び効果

本路線は、甲府市上石田から同市御岳町を結ぶ全長22.7kmの主要地方道であり、国の特別名勝御岳昇仙峡へアクセスする観光道路であるとともに、災害時の第二次緊急輸送道路としての役割を担う重要な路線である。

本路線の一級河川荒川に渡河する櫻橋は、昭和35年に架橋され、既に64年経過しており、老朽化が進行しているとともに幅員は5.5mと狭く、前後の道路線形も悪いことから大型車同士のすれ違いが困難な状況である。このため、本橋を架け替えることにより橋梁の耐震化を図るとともに、通過交通の安全を確保する必要がある。

- 主要目標 ○災害に強い道路の確保
- ・危険度：耐震未補強
 - ・損傷度等：C
 - ・緊急輸送路の指定：指定あり (第二次緊急輸送道路)
 - ・自動車交通量：1,594台/12h(事前評価時) < 3,340台/12h以上 ※
※評価基準値

- 副次目標 ○歩行者等の安全性の確保
 □副次効果 ○アクセス機能の維持

②事業概要
 道路改良 L=300m W=5.5 (9.5) m、橋梁架替え 1橋

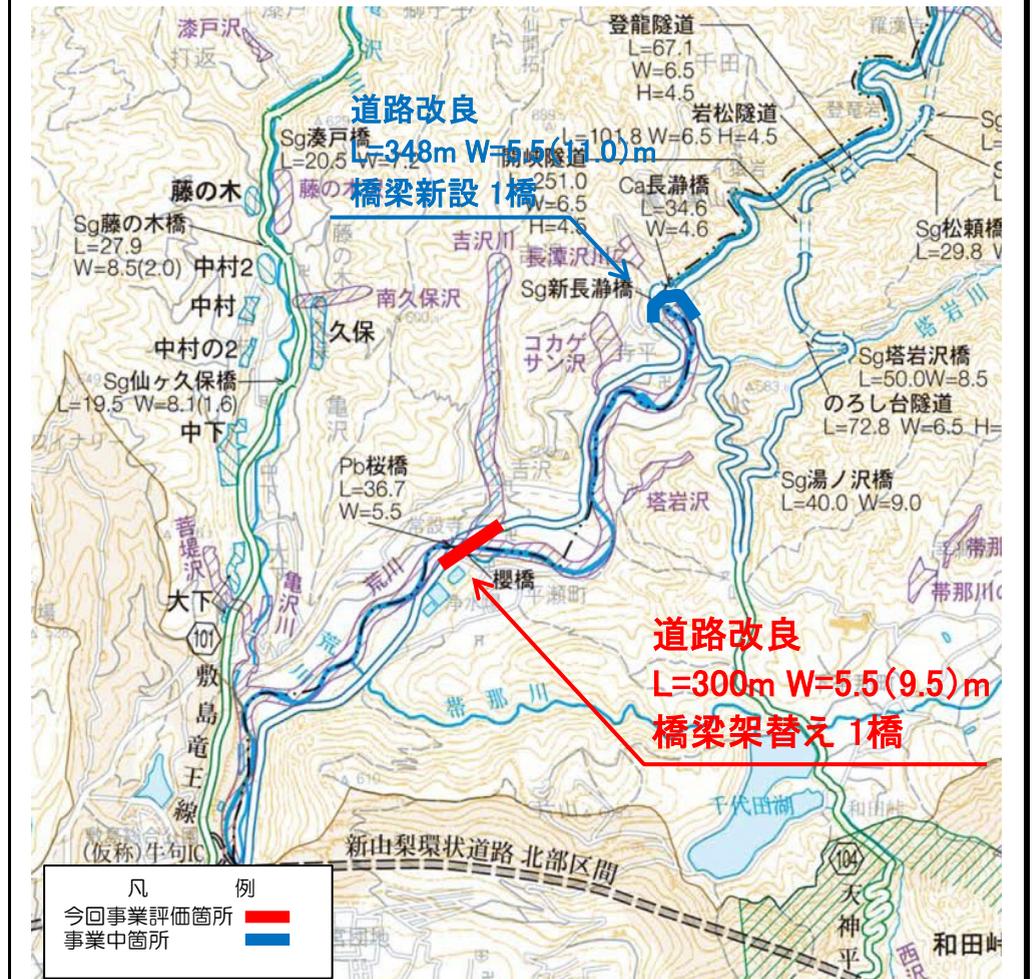
③全体計画

		令和5年度まで	令和6年度 (評価実施年度)	令和7年度以降
現計画	工事内容	測量・設計 用地補償 道路改良工 橋梁下部工 橋梁上部工	道路改良工 旧橋撤去工	
	事業費	470 百万円	130 百万円	
変更計画	工事内容	測量・設計 用地補償 道路改良工 橋梁下部工 (P1)	橋梁下部工 (A1,A2)	橋梁上部工 道路改良工 旧橋撤去工
	事業費	425 百万円	75 百万円	800 百万円

※現計画欄は計画値、変更計画欄は前年度までは実績値、当年度以降は計画値を記入。

⑤これまでの評価状況
 ・なし

(2) 事業位置図等



2.評価シート（1）

（1）事業を巡る社会経済情勢等の変化

（今回の再評価で変更がある場合、変更事項を説明するために必要な内容）

①地域・住民の意向状況

- ・変化なし

②産業・経済情勢

- ・変化なし

③国等の方針

- ・変化なし

④上位計画・関連事業計画等

- ・「山梨県総合計画」（令和5年10月改訂）
- ・「山梨県強靱化計画」（令和6年3月改定）
- ・「山梨県社会資本整備重点計画（第四次）」（令和4年9月改定）
- ・「山梨県道路の整備に関するプログラム」（令和6年3月改定）

⑤自然環境条件等

- ・変化なし

⑥その他

- ・変化なし

（2）評価時点の費用対効果分析

項 目		着手時点		変更計画時点	
総事業費			百万円		百万円
工 期		～		～	
評価基準年					
経 済 効 率 性	費用		百万円		百万円
	建設費		百万円		百万円
	維持管理費		百万円		百万円
	その他(百万円		百万円
	便益		百万円		百万円
			百万円		百万円
			百万円		百万円
	その他※		百万円		百万円
B/C					

※老朽化した橋梁の架け替え事業のため、不算出

（3）これまでの計画変更等の概要

なし

評価シート(2)

(4) 事業進捗状況及び見込み

①進捗率
別表のとおり。
R6年度進捗率(現計画)100.0%→(実績)83.3%→(変更計画)38.4%

②進捗率実績が計画と相違している理由
用地取得に時間を要したこと及び橋梁下部工事において巨石が多数確認され、この工事に2濁水期に渡る施工が必要となったことに伴い、全体工程に遅れが生じたことによる。

③総事業費の変更内容

変更工種等	事業費増減	変更理由
路肩幅員の変更	200 百万円 増	自転車走行空間の確保に伴い、路肩幅員を変更したため
土留擁壁工	200 百万円 増	地質調査の結果から、土留擁壁工の構造を変更したため
仮設土留工	300 百万円 増	橋台工事において、巨石が多数確認され、仮設土留工法を変更したため
合計	700 百万円 増	

※事業費増には、資材・労務単価上昇分を含む

④事業期間の変更理由及び進捗予定
用地取得に時間を要したこと及び橋梁下部工事の仮設工法の変更による工期延長等により、工事進捗が遅れたため、工期を5年延長する。なお、現時点で用地取得は完了しているため、工事の進捗管理を徹底し、令和11年度の完成を予定している。

⑤今後の事業執行における留意点
起点側の道路改良工事は、平瀬浄水場(甲府市上下水道局所管)に近接するため、施設管理者等と施工調整を行う。

(5) 環境負荷等への配慮

なし

(6) コスト縮減の可能性

なし

(7) 代替案立案の可能性

なし

(8) 所管部の今後の方針 継続・見直し継続・その他()

(理由)
現橋は、老朽化が進行しているとともに幅員は5.5mと狭く、前後の道路線形も悪いことから大型車同士のすれ違いが困難な状況であり、早急に整備する必要があります。
現在、用地取得は完了しており、本事業に対する地元の期待も大きいことから事業を継続し、変更計画に基づき令和11年度の完成を予定している。

○別表-進捗率(事業費ベース)

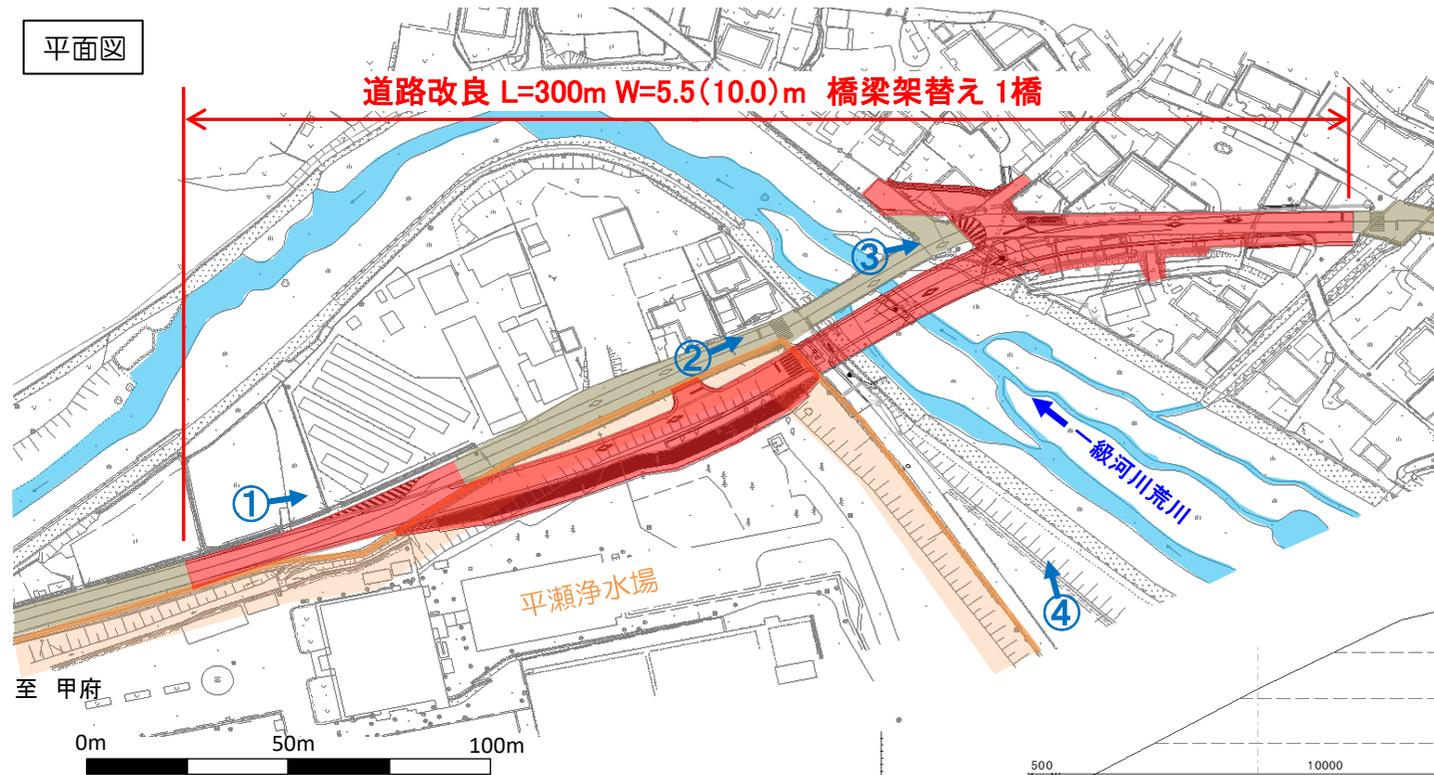
算出方法：【上段】現計画の計画事業費/総事業費×100 【中段】現計画の実績事業費/総事業費×100 【下段】変更計画の計画事業費/総事業費×100 単位：%

	年度	*H30	R1	R2	R3	R4	R5	*R6	R7	R8	R9	R10	R11
現	計画	6.7	8.3	21.7	50.0	58.3	78.3	100.0					
	実績	4.9	13.4	16.6	27.8	39.1	70.8	83.3					
変更計画								38.4	53.0	68.4	85.4	96.1	100.0

*事業着手年度又は評価年度
*R6年度の実績は見込み

3.添付資料シート(1)

平面図

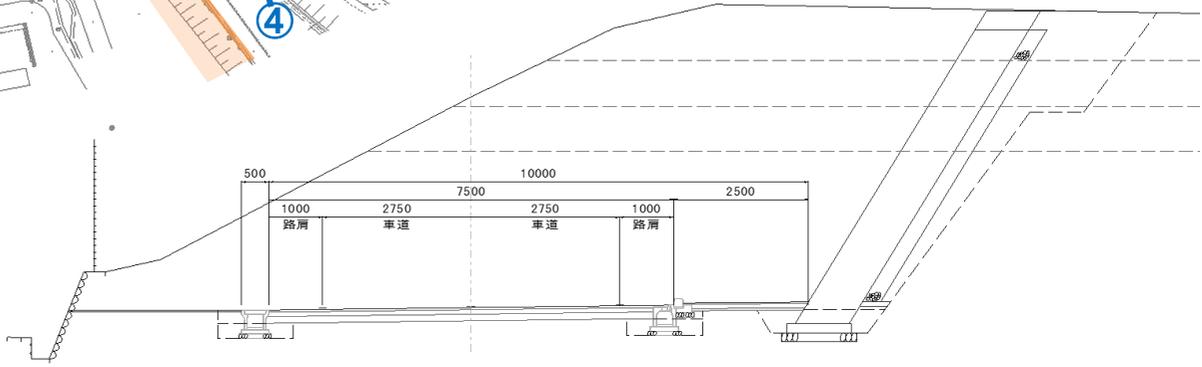


凡例

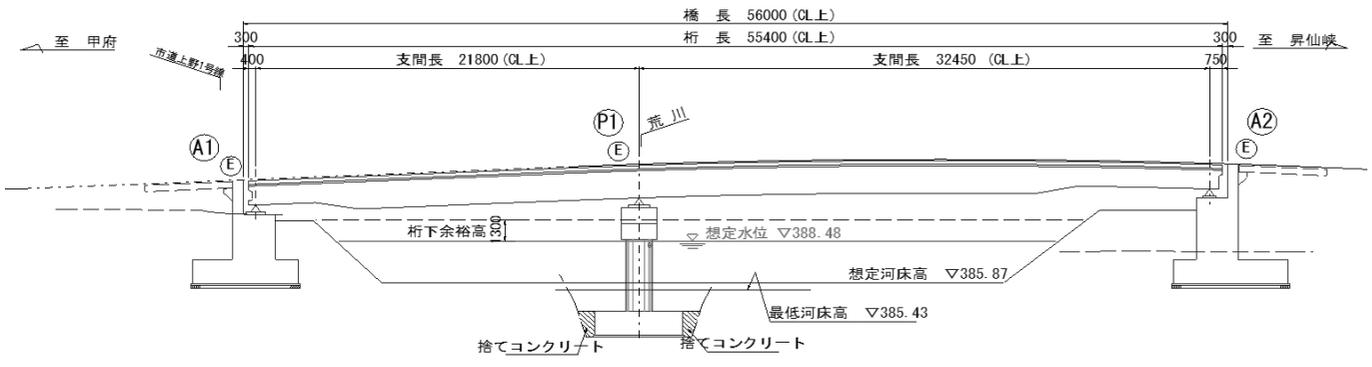
今回再評価箇所	
平瀬浄水場	

標準横断面図

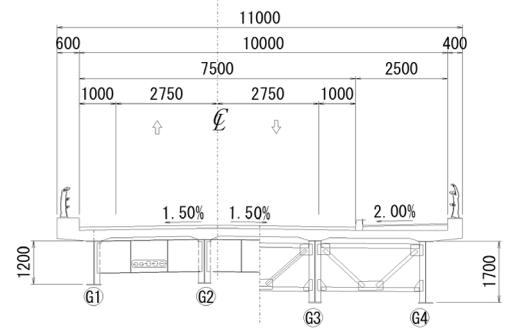
一般部



橋梁一般図



橋梁部



3.添付資料シート(2)

① 起点から櫻橋を望む



② 櫻橋の状況(道路幅員が狭く、大型車は対向車線にはみ出す)



③ 櫻橋から終点を望む(道路幅員が狭い)

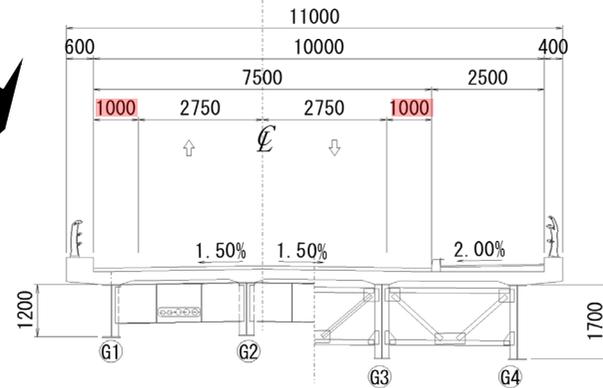
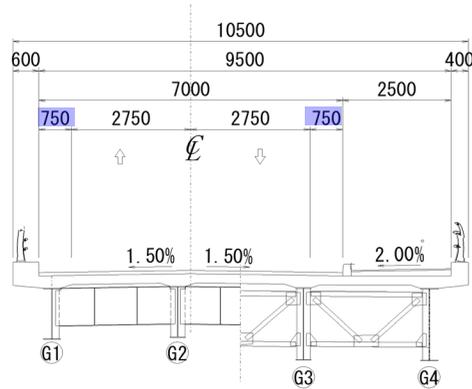


④ 現在の状況(P1橋脚施工済)



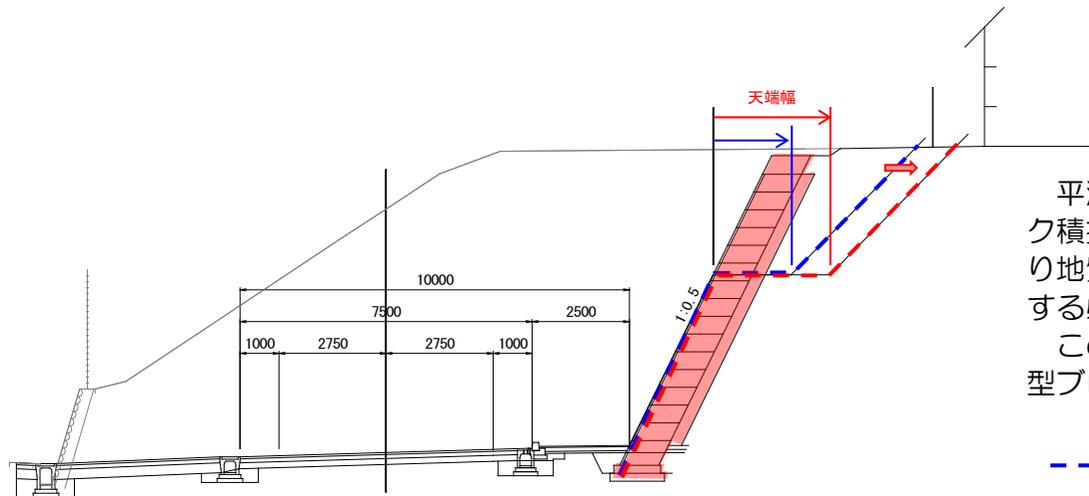
3.添付資料シート(3)

変更内容① 路肩幅員の変更



自転車走行空間の確保のため、
路肩幅員を 0.75m から 1.0mに変更した。
(山梨県県道の構造基準等を定める条例(R2.4.1改正))

変更内容② 土留擁壁工の構造変更



平瀬浄水場の土留擁壁について、現況と同じ構造の「ブロック積擁壁+切土」を計画していたが、地質調査の結果、想定より地質条件が悪いことが判明し、擁壁背面の天端幅を広く確保する必要が生じた。

この場合、浄水場内の施設に影響してしまうことから、「大型ブロック積擁壁」に構造を変更した。

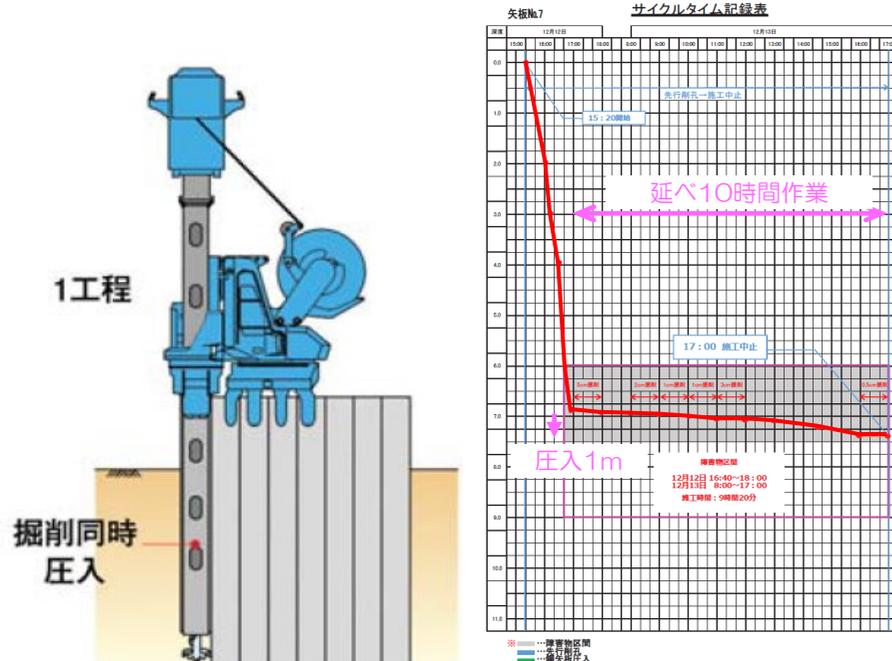
- ブロック積+切土 (当初の計画)
- ブロック積+切土 (地質調査後の計画)
- 大型ブロック積 (最終の計画)

3.添付資料シート (4)

変更内容③ 仮設土留工法の変更

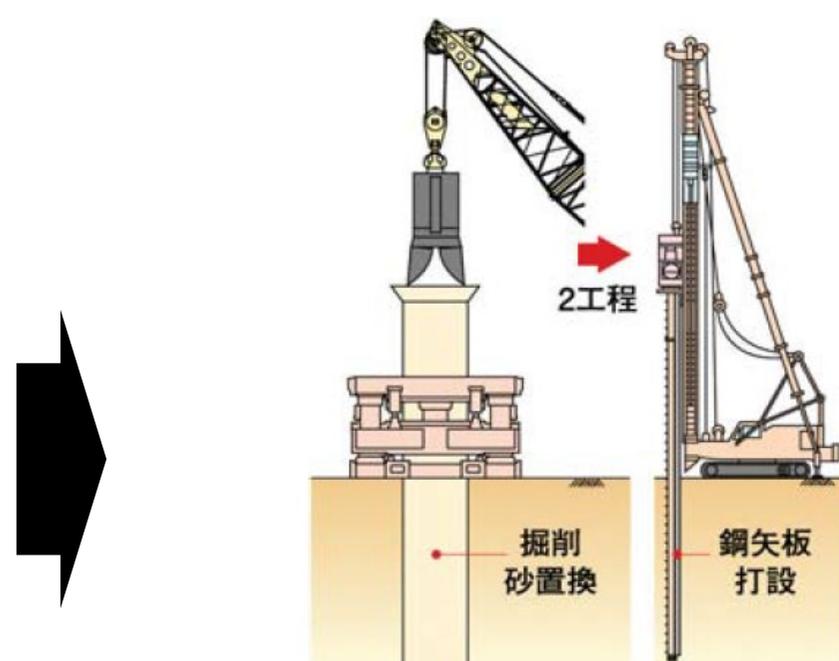
橋台工事の仮設土留工（鋼矢板）の施工にあたり巨石が多数出現し、「油圧圧入工法（硬質地盤用）」では施工が困難なことから、『オールケーシングによる砂置換併用バイプロハンマ工法』に工法を変更した。

油圧圧入引き抜き工法



※出典：全国圧入協会パンフレット

オールケーシングによる砂置換併用バイプロハンマ工法



※出典：全国圧入協会パンフレット



4.年度別事業費内訳表（変更計画の内容）

年度	変更事業費 (千円)	事業概要	進捗率 (%)
H30	29,498	現地測量、道路詳細設計	2.3%
R1	50,706	橋梁詳細設計、関係機関協議	6.2%
R2	19,642	用地測量	7.7%
R3	66,798	用地補償	12.8%
R4	68,181	用地補償、橋梁下部工	18.1%
R5	189,820	用地補償、橋梁下部工	32.7%
R6	75,000	用地補償、橋梁下部工	38.4%
R7	190,000	道路改良工、橋梁下部工	53.0%
R8	200,000	橋梁上部工	68.4%
R9	220,000	道路改良工、旧橋撤去	85.4%
R10	140,000	道路改良工、旧橋撤去	96.1%
R11	50,355	旧橋撤去	100.0%
合計	1,300,000		